

WHAT'S KCD ?

「川越まちおこしワークショップ (Kawagoe Community Design Workshop = KCD)」は、大学（学生及び教職員等）、自治体（関連部署・外部機関等）、民間（企業・NPO・研究機関等）の3者による連携・協働のためのプラットフォームです。

本年度より、全学カリキュラム講座 CPW とリンクした「インターンシップ形式のまちおこし活動」が始まりました。今後も、地域おこしの担い手となる『人財』を育成するための「地域志向型の教育研究体制」を整備・充実させていきます。

大学COC運営委員会



川越フロンティア

の活動内容

ミッションコンプリート

パートナー企業を探し、企業ミッションを頂戴しプロジェクトを立ち上げます。

一人ひとりが主役

CPW の経験を活かし、実際のプロジェクトに関わり一人のメンバーとして主体的に活動します。

インターンシップ形式

JTB 関東 法人営業川越支店や CPW 講師陣、専門家とともに地域課題の解決を目指します。

インターンシップのお問い合わせは第1キャンパス管理棟COC事務室まで

全学カリキュラム講座

Community Project Workshop

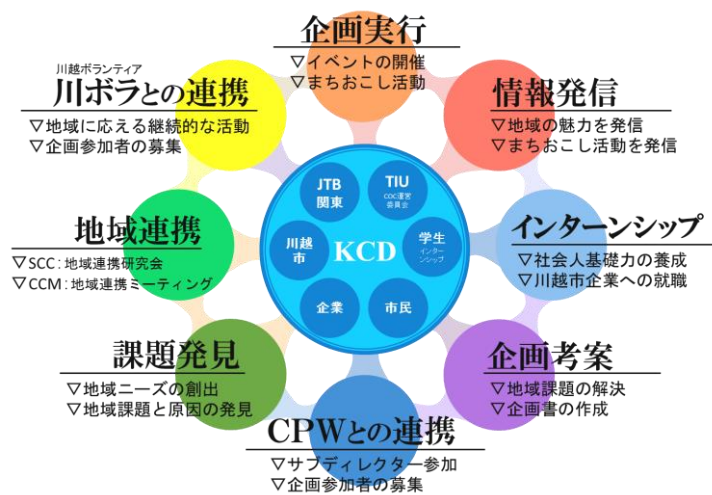
CPW A
CPW 基礎 I
観光まちおこし
企画立案 産業活性化

CPW B
CPW 基礎 III
小江戸グローバル化
情報発信 国際交流

CPW C
CPW 基礎 II
グローバル人材育成
企画運営 市民交流

川越まちおこしワークショップ

Kawagoe Community Design Workshop



舞台は小江戸、主役はあなたと“仲間たち”



文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」
「小江戸まちおこし」グローバル人材育成のための
地域連携型教育研究拠点づくり

COCOEDO Vol.4

2015年7月31日発行

発行元: 東京国際大学COC運営委員会
問い合わせ先: 第1キャンパス管理棟COC事務室
メールアドレス: coc@tiu.ac.jp



1st STAGE

CPW から 繋がる

KCD プロジェクト

2nd STAGE



川越フロンティア

「CPWって面白い」「物足りない！」と感じた学生には、CPWから繋がる第2ステージ:KCDプロジェクトが用意されています。このプロジェクトに関わるのが学生プロジェクトチーム“川越フロンティア”です。

CPWで学んだ経験を活かして、実際のプロジェクトにメンバーとして関わり、インターンシップ形式のまちおこし活動をしています。CPWを受講している皆さん、私達と一緒に新しい川越を見つけませんか？

小江戸に「新しい驚き」を届けましょう！

川越フロンティア 一同

TOPIC 1

スタディツアー
～川越ニューツーリズム～

TOPIC 2

キャンドルナイト
～希望のあかり～

TOPIC 3

学生講演
～CPW 基礎 I～

GLOBAL + LOCAL = GLOCAL



LUCE × CPW A

2015. 6. 13

TOPIC

1

川越 スタディツアー

参加者、協力者の皆さん
ありがとうございます！

New
Tourism

「日本のニューツーリズム」を存分に体験できるオリジナルツアーをCPW 受講学生が企画し、ウィラメット大学で環境を学ぶ学生とともに、川越をフィールドワークしました。



Voice

ツアー実現が決まったとき、私たちは自信がありませんでした。不安と緊張の中、ウィラメット生を前に恐る恐るツアーの説明してみたところ、「ガラスアート、いいね！体験できるものがあるって面白そう！」と言ってきて、モヤモヤした気持ちは吹き飛びました。

プロジェクトの出発点は、2月の冬期集中授業 CPW A で作成した企画書です。ターゲットは、「環境を学ぶ外国人学生」に絞り、川越のグリーンツーリズムやエコツーリズムを紹介するために考えた「スタディツアー」というコンセプトが、そのまま企画のタイトルになりました。

実現に至るまで、多くの方々の協力に支えられました。中でも、翻訳が一番大変でした。ツアーの説明や講演内容を事前に整理しておき、すべて英語で伝えられるよう準備しました。多くの困難に突き当たったものの、驚きと発見に満ち溢れた三週間、実践的な英語を学ぶことができたと思います。

今後もウィラメットの学生たちとの友好関係や、第二の故郷川越で培われた人との繋がりを大切にしていきたいと思っています。



ツアー紹介

- 10:30 感 ガラス工房 Blue moon
- 12:00 食 昼食
- 13:45 観 雨水くん / EV 見学
- 15:15 聴 いきいき田んぼの会
- 17:00 観 水上製本所

EV: 電気自動車充電スタンド

川越に「新しい観光のカタチ」を提案するスタディツアーを開催しました。

街にある「ちょっぴりエコ」を発見したり、川越の自然に触れ合ったり、実際に活動している人の話を聞いたり——学生や外国人観光客にも楽しんでもらえるような体験型ツアーです！



言語コミュニケーション学部
2年 笹谷 良太 2年 笹原 徹



2015
3. 11

LIGHT FOR HOPE

キャンドルナイト~希望のあかり~

TOPIC
2

2月の冬期集中授業で、Candle JUNE さんが講演し「被災地の今」を学生に伝えました。

東日本大震災から4年——福島県7会場で一斉にキャンドルが灯りました。写真は、近隣の小学生や来場者が思い思いに描いた「世界に一つだけのあかり」です。当日、Candle JUNE さんの呼びかけで集まった有志の学生たちが、地域の人と声を掛け合いながら、一つ一つ火を灯していきました。

震災復興、地方創生、まちおこし。今、日本各地でたくさんの方が立ち上がり、さまざまな活動が行われています。ところが、地域課題はお金があっても解決できない場合も多く、「まちおこしには何が必要なのだろう？どうすれば地域活性化できるだろう？」という疑問をずっと持っていました。

今回の活動を通して気付いたこと——それは「人と人との結びつき」です。地域の主役はその土地で暮らす一人ひとりであり、「故郷を想う人々の結びつき」がキャンドルナイトという形になりました。私は、その一人として携われたことを嬉しく思います。今後も、これまでの経験を活かして「小江戸まちおこし」に貢献していきたいです。

Voice

人間社会学部
2年 勝俣 徹哉

CPW がきっかけで多くの人と繋がりが
学生生活の幅が広がりました



学生による 川越 講演

CPW A・B・C は同じ科目を
2回まで履修できます

TOPIC
3

川越学入門「CPW 基礎 I」の講義でフィールドワークの中間発表を終えた後、昨年 CPW で活躍した川越出身の学生が「故郷 川越」を熱く語りました。

Voice

MY HOME

今まで、故郷と真剣に向き合う機会はありませんでした。「川越愛について語ってほしい」と先生に頼まれ、何を話そうか考えていくうちに「私はなぜ地元(川越)が好きなのだろう？」という疑問にぶつかりました。

そこで行き着いた答えは「地元だから」です。私の地元は、蔵造りでも菓子屋横丁でもありません。田んぼや畑ばかりの田舎です。他の人から見れば何も無い場所です。ですが、私が「地元」として見つめ直してみると、不思議と「この場所で育った自分」が目に見えてきます。

地元は、私がここで生まれ育ったという証を示してくれます。たとえ地元を離れたとしても、帰ってきたときには懐かしい思い出で包まれ、知人たちが笑顔で迎えてくれる場所なのだと思います。



商学部
4年 安田 春菜



CPW 基礎 I
2015. 6. 18

Community Project Workshop

KCD

川越まちおこし
ワークショップ
×



学生プロジェクトチーム
川越フロンティア

進行中

企画中

進行中

川越 専科 プロジェクト

CPW 受講学生が季刊誌「川越専科」のコンテンツ制作に挑戦中です。若者目線から観た魅力や課題を出し合い、テーマを決め、取材を行っています。

菓子屋横丁 プロジェクト

「元気です！菓子屋横丁」をテーマに活動中です。今年9月の集中授業で、菓子屋横丁 PR 動画の制作を企画中です。

街歩き商品 プロジェクト

JTB 関東の着地型観光商品の開発に取り組んでいます。近年のニーズに合わせた若者向けのコンテンツとして、実際に販売することを目指します。